

第2回川越市オーバーツーリズム対策懇談会

川越市におけるオーバーツーリズム
対策事業案について

令和6年5月10日

川越市	産業観光部	観光課
	都市計画部	交通政策課、都市計画課、都市景観課
	建設部	道路街路課

本市の観光特性とオーバーツーリズムによる課題

地域
特性

首都圏内の立地特性

歴史的な街並み

歴史的な道路構造

日帰りが多い

昼間に観光時間が集中

生活交通の場と同一

道路空間が狭隘

ハード整備が困難

保全すべき建造物が多い

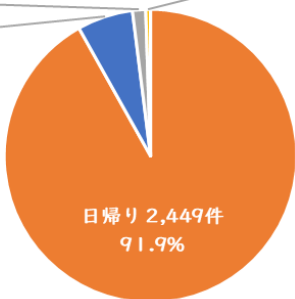
まち歩き観光

食べ歩き（歩き食べ）

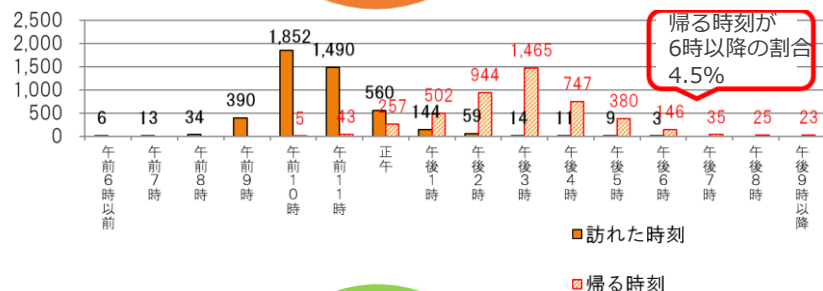
R5 滞在期間（総数：2,666件）

2泊 39件 1.5%
1泊 164件 6.2%

3泊以上 14件 0.5%



日帰り 2,449件
91.9%



食べこぼし

道路汚損

住宅地等へのごみのポイ捨て

交通渋滞

歩行の安全性の低下

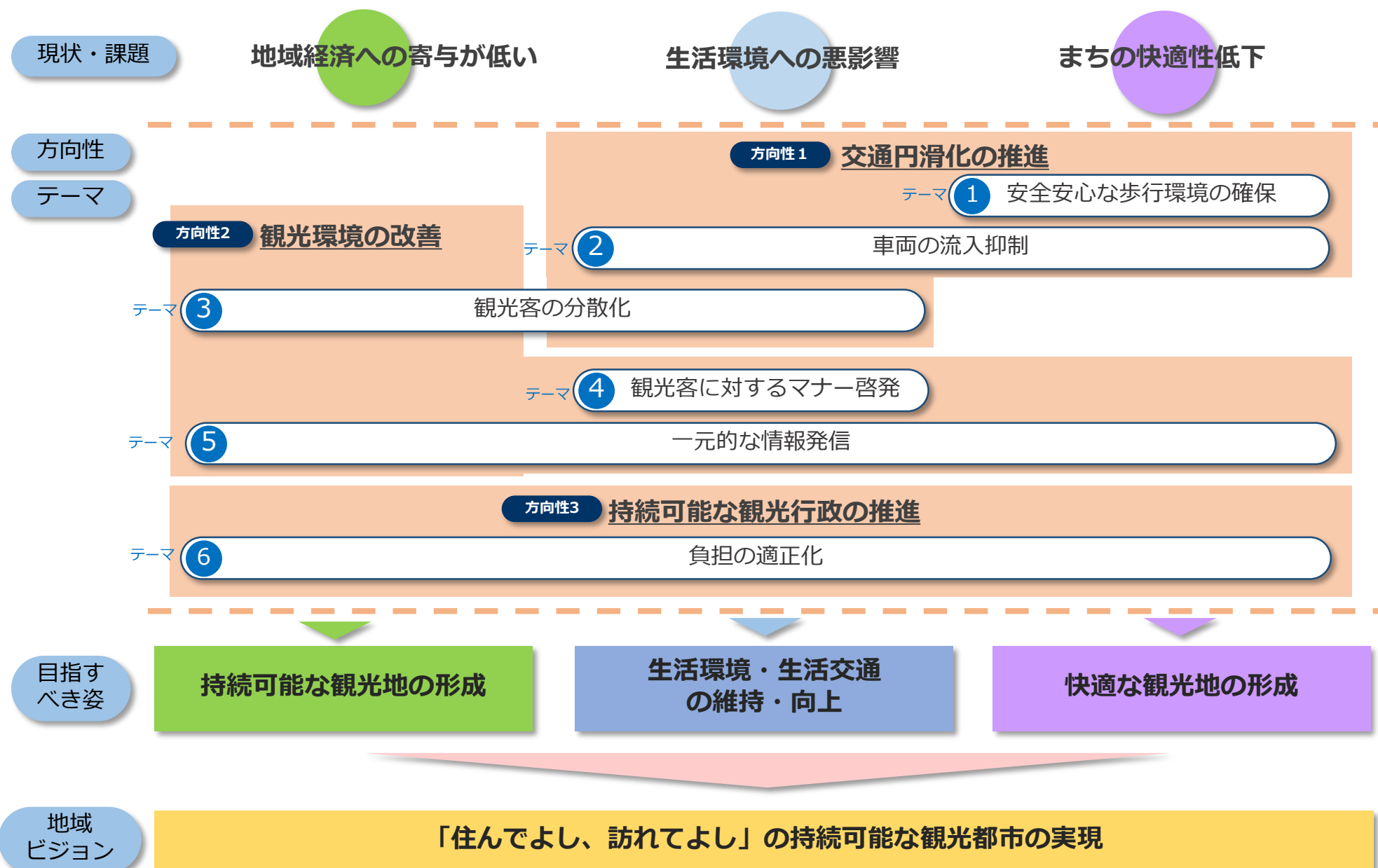
地域経済への
寄与が低い

生活環境
への悪影響

まちの
快適性低下

オーバーツーリズムによる課題

本市の観光の現状、方向性・テーマ、目指すべき姿



事業の方向性、テーマ、具体的対策の案



全般的な意見

- ・ この対策次第で商店街の行く末、あるいは各お店の行く末も左右するのではないかと思っている
- ・ ごみ問題、トイレ問題、交通問題についてこの三つが大きな問題となると思っている
- ・ いろいろ対策を考えてはいるが、正直、これといった対策は出てきていないのが現実
- ・ 多数いる観光関連事業者の発展を持続的に支援するには、持続的に観光も発展することが非常に大切
- ・ 国内外からいらっしゃる観光客の皆様の生の声を最初に聞く利点を活かし、交通政策、様々なマナー啓発等しっかりやっていきたい
- ・ 7ヶ月の対策事業だけで終わらせないようにしてほしい
- ・ ありきたりの政策でない方が絶対にいい

交通・混雑関連の意見

- ・ 鉄道ならではの手法で施策をやっていけたらと思っている、鉄道利用者を伸ばした方がいい
- ・ バス事業者として、業界を取り巻く環境が厳しくなっている中、できることは限られるが、交通安全面の問題解決等に関して協力できればと考えている
- ・ 整理券システム等の導入支援に興味があり、できるのであれば早めに教えてほしい

ごみ・マナー関連の意見

- ・ごみ問題に関して、いろいろ取り組みはしてきましたが、なかなか解決策が見いだせずにいる
- ・オーバーツーリズムに関しては、やはりごみや普通のご自宅への入り込みがあるという声も多い
- ・ごみ対策について、これは観光客に対するマナーを訴えることと視点が違い、我々商店の責任におけるゴミだと思っている。
- ・モラルのようなものができて、みんなで守っていく、そういう懇談会になればいい

仕組み・システムづくり関連の意見

- ・この7ヶ月の間に、マネタイズというお金を生み出す仕組みを作る、考えることが現実的でないか
- ・分散化に興味を持っており、郊外の伊佐沼や角栄商店街のように昭和レトロの風情があって逆に面白かったりする可能性もあり、持続可能なシステムを作り上げるのが今回の補助金の使い道として良いのではないか

北部市街地自治会交通対策連絡協議会（5/8）で出された主な意見

- ・一番街の混雑は行列が要因であり、混雑緩和に当たり、食べ歩きで並ばせる店舗全てに整理券を導入し、解消を図るべき。
- ・川越市に車で来る人は観光消費額も多い。また、一番街自体は渋滞等もないため、どこの自動車交通量を削減するかは考える必要がある。
- ・観光客は行きたい場所が決まっている場合が多く、分散化が難しい部分がある。
- ・埼玉医大から川越駅に向かうバスは、観光客により満車となり、市民が乗れないことがある。
- ・地域の意見も大切だが、同じような課題をもっている自治体の取組も調査・検討して欲しい。
- ・駐車場対策について、駐車場容量や流入車両台数等、数値的な解析をする必要がある。
- ・空き家対策が進むと中心市街地に駐車場が拡がることとなる。空き家対策で出来た空き地を市が借り上げ、観光客の休憩スペースとしてはどうか。
- ・協議会の運営に当たり、コーディネーターを入れたことがあるが、あまり進まない。市は大変でも、町の代表と対面で話し合うべき。
- ・10数年何も変わっていない。北部の交通対策は地域住民のために何をするかであって、それが無い。調査が目的でなく、何を実施し、どう変わったのかが重要である。

テーマ1

【方向性1】交通円滑化の推進

【テーマ1】安全安心な歩行環境の確保

◎現状と目指すべき方向性

現 状

- ・本市最大の観光拠点である一番街は生活道路であり、幹線道路でもある。
- ・周辺エリアは、歴史的な道路構造、建築物が多く、更なる道路拡幅・交差点改良等は長期化が予想される。

目指すべき姿

- ・北部市街地周辺の生活交通及び生活環境を保全しつつ、「安全安心」な歩行環境を創出する。

◎具体的な対策案

具体的対策

1

適切な交通規制等のあり方検討

北部市街地における適切な交通規制等のあり方について、交通量調査結果をもとに交通シミュレーションを実施し、検討を行う。

具体的対策

2

公共交通の利用促進

リアルタイムでの運行情報や行先等の多言語表記、観光拠点情報等を発信するスマートバス停を設置し、利用者の利便性向上と公共交通の利用促進を図る。

具体的対策

3

行列・混雑の解消支援

飲食待ちの行列が頻繁に生じる飲食店舗に対し、整理券システム等の導入支援により、行列及び道路空間の混雑解消を図る。

具体的対策

4

滞留スペースの確保

伝建地区内の空地の活用による滞留スペースの確保とそれによる道路空間の混雑解消を図る。

【具体的対策】適切な交通規制等のあり方の検討

事業概要

北部市街地における適切な交通のあり方（交通規制及びその条件並びに交通円滑化策）を検討するに当たり、客観的データに基づく検討を行うため、コロナ後における交通量調査とそれに基づく交通シミュレーション等を実施するもの。

効果

- 最新の交通量調査に基づく交通シミュレーションを実施することで、コロナ後における交通規制時の影響を踏まえた対策の方向性について絞りこむことができる。

交通量調査

主要交差点22箇所の自動車交通量及び3路線の歩行者交通量を調査



⑪ ⑬は、一方通行出口の交通量のみ計測

交通シミュレーション

交通量調査結果をもとに、交通シミュレーションを実施し、協議会において客観的データに基づく、交通規制の検討を行う。

【具体的対策】公共交通の利用促進（スマートバス停）

事業概要

公共交通の利用促進を図るため、バスの到着予定時間を表示するバスロケ機能や多言語による行先表示等を掲載するスマートバス停を川越市役所前バス停に設置するもの。

効果

テロップ機能により、迂回運行や車両の遅延等の情報を発信することで、運行状況に変更が生じた場合でも、利用者に必要な情報を提供するなど、バスの利用促進を図ることができる。

事業内容等

○事業内容

民間バス事業者によるスマートバス停（時刻表・バスロケ機能・お知らせテロップ等を搭載するデジタルサイネージ付バス停）の設置に当たり、設置費用の一部を補助するもの。

○想定設置箇所

川越市役所前バス停（川越駅方面 1基）

スマートバス停イメージ図(案)



・明るさ：1500cd（カンデラ）/㎡
・液晶パネルサイズ：21.5インチ～24インチ想定

【具体的対策】**行列・混雑の解消支援(整理券システム等)**

事業概要

テイクアウト品の購入または店内飲食待ちの行列が歩道上に頻繁に発生する飲食店舗に対し、交通の安全性の観点から、整理券システムを導入する際の費用を一部補助し、道路上の混雑緩和を図る。

効果

- ・ 行列の解消
- ・ 歩行空間の創出
- ・ 観光時間の有効活用による観光客の満足度向上と消費の拡大



業務内容

- ① 商店街との協議
- ② 補助金交付要綱の作成
- ③ 補助金申請の受付・交付決定
- ④ 導入後の実績報告書提出・交付額確定

【具体的対策】滞留スペースの確保（伝建調査）

事業概要

伝建地区にはポケットパークや広場が確保されているものの十分でなく、歩道の代替空間となる観光客の滞留スペースの確保が必要な状況にある。

地元の川越町並み委員会の自主ルール「町づくり規範」では、既に「店舗導入部の空間づくり」のルールにより店内に来店客を招き入れることを推奨しており、それに則した好事例が生まれている。

そこで、これをさらに発展させ、中庭や通り抜けルート等を活用した観光客の滞留スペースの創出に向けて、活用可能な低利用空地についての実態把握を行うとともに、その効果の検証及び実効性を確認する。

これらの調査を踏まえ、町づくり規範への掲載に向けて、川越町並み委員会と検討を行うもの。

効果

城下町川越の町割り、地割りによる中庭や背後の緑地等、まちの懐の深さを生かしながらか滞留スペースを創出することで、一番街をはじめとする道路空間の混雑解消を図ることができる。

業務内容

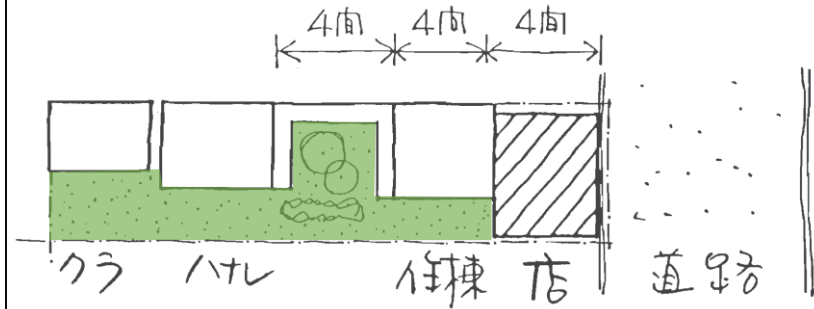
①伝建地区内の低利用空地の実態把握

- ・店舗等の建物利用及び低利用空地の実態把握
- ・低利用空地への観光客の誘導策の検討

②低利用空地の活用促進に向けた実証実験

- ・土地及び家屋所有者へのオープンスペース化等に係る意向調査
- ・民有地（中庭等）のセミパブリック利用に向けた実証実験・検証

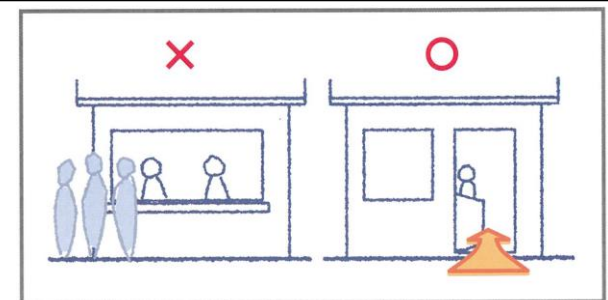
民有地においてオープンスペースを活用している好事例



川越の伝統的な町家中庭空間（「町づくり規範」）



【町家中庭等を飲食可能なセミパブリック空間に活用】



【町づくり規範の例】 ≧店舗導入部の空間づくり

- ・対面販売や建物の前に屋台を出すなどの無店舗販売はこれまで川越では見かけなかった販売方法になります。極力、店内に引き込む形の商売に心掛けましょう。

テーマ2

【方向性1】交通円滑化の推進 【テーマ2】車両の流入抑制

◎現状と目指すべき方向性

現 状

- ・地域住民から、交通規制導入による周辺道路への影響に対して懸念が示されている。
- ・各種取組により、自動車交通量は一定程度緩和したが、大型連休時には駐車場が満車となり、駐車場を探すうろつき渋滞が発生するなど、更なる流入抑制・交通渋滞対策が必要。

目指すべき姿

- ・交通規制等のあり方検討と並行して、北部市街地への車両の流入抑制による交通渋滞の緩和を図る。

◎具体的な対策案

具体的対策

⑤

パークアンドライド事業の拡張性等に関する調査検討

民間所有も含めた既存の駐車場やバス路線を活用したパークアンドライド事業の検討を行い、収容力の拡充を図る。併せて、幸町駐車場等、北部市街地における観光用駐車場のあり方について検討する。

具体的対策

⑥

駐車場の混雑・満空状況の情報環境整備

郊外型駐車場の混雑状況を把握するための設備を設置し、市庁舎駐車場とともに混雑情報を提供する。併せて、主要観光スポットの混雑予測情報等を発信することにより、うろつき車両の削減やマイカーでの来街抑制等を図る。

※上記の他、道路整備等のハード対策についても、関係機関と連携して取り組んでいく。

【具体的対策】パークアンドライド事業の拡張性等に関する調査検討

経緯及び概要

令和5年3月にパークアンドライド実証実験を実施し、郊外型駐車場の設置やパークアンドライドの実施に向けた今後の方向性について整理した。今回、当該調査結果に基づき、パークアンドライド事業の拡張性等に関する調査検討を行うことで、同事業の更なる推進を図ろうとするもの。

効果

民間も含めた既存の駐車場やバス路線を活用したパークアンドライドを実現することで、中心市街地への車両の流入を抑制し、交通渋滞の緩和や交通規制に向けた環境づくりを図るだけでなく、**コストをかけずに、需要に応じた駐車場及び輸送手段を確保し、持続可能なパークアンドライドの運営**を可能とする。

事業内容

- ①本市における観光用駐車場のあり方に係る調査検討
- ②パークアンドライド事業の拡張性に係る調査検討
- ③「パークアンドライド駐車場登録制度」の導入可能性に係る調査検討
- ④予約型駐車場シェアリングサービス導入に係る調査検討
- ⑤上記の検討に必要なナンバープレート調査の実施

実証実験結果と今後の方向性

(実証実験結果)

- ・大型連休時は早期に郊外型駐車場が満車となる一方、平日や雨天時は余裕がある。
- ・駐車場の利用は目的地より徒歩10分を超える場合は、バス等の移動手段が必要である。



(今後の方向性)

- ・駐車場が不足するのは繁忙期の休日のみであり、費用対効果も踏まえ、**民間も含めた既存駐車場やバス路線の活用**について、検討が必要である。

ナンバープレート調査



中心市街地への車両の流入経路においてナンバープレートを調査し、流入車両の登録地、通過時間、流入・流出先、台数を調査し、駐車場の設置位置や設置時の効果を分析するもの。

【具体的対策】**駐車場の混雑・満空状況の情報環境整備**

事業概要

観光客の利用率が高い市庁舎北側・南側駐車場（土日祝のみ）及び郊外型駐車場において、混雑や満空状況を把握できる情報環境を整備する。

駐車場



効果

市庁舎北側・南側駐車場（土日祝のみ）及び郊外型駐車場について、混雑情報をウェブで発信することにより（※①）、満車による駐車場待ちを未然に防ぐ。

※①情報発信は具体的対策⑩「混雑緩和、マナー向上に向けた観光情報の一元的な発信」の中で実施

業務内容

- ①市役所南北駐車場の満空情報の発信
（満空情報をデータ装置よりWEB上に発信する）
- ②城下町郊外型駐車場の満空情報の発信
（新規で満空情報の機械を設置し、満空情報をデータ装置よりWEB上に発信する）
- ③ 駐車台数のデータ集計

テーマ3

【方向性1】交通円滑化の推進 及び
【テーマ3】観光客の分散化

【方向性2】観光環境の改善

◎現状と目指すべき方向性

現 状

- 一部の地域と特定の時間帯（日中の一番街）に観光客が集中しており
- ・ **車両と歩行者の錯綜、歩行空間の混雑**が発生
 - ・ 様々な観光エリアがあるにもかかわらず観光客があまり回遊していない
 - ・ **低い観光消費額**にとどまっている

目指すべき姿

- ・ 観光客の回遊性の向上
- ・ 滞在時間の延伸
- ・ 観光消費額の増加
- ・ 特定エリア・時間の混雑解消

◎具体的な対策案

多様な観光拠点への誘客促進とネットワーク化
等による分散化の推進

令和5年GPSデータのエリア別来訪人数

エリア	合計
一番街周辺	2,832,567
喜多院周辺	255,864
川越氷川神社周辺	317,265
伊佐沼周辺	342,756

10倍以上の差

具体的対策

⑦-1
具体的対策

無電柱化の検討

歩行空間を確保し、観光客の分散化を図るための無電柱化に関する調査等を実施する。

⑦-2
具体的対策

喜多院地域、川越城地域
等への誘客促進策

地域関係者（観光施設、商店街等）と協議のうえ、喜多院地域、川越城地域、郊外地域への誘客促進策を実施する。

⑦-3

【その他関連事業】

グリーンツーリズム拠点施設の整備

郊外エリアへの誘客促進による観光客の分散化、滞在時間の延伸を図るためのキャンプ場整備（土地造成、区画道路等整備）を行う。

事業概要

一番街に隣接する「昭和の街」では、歴史的な街並みの保全を考慮し、現道幅(11m)を前提としたまちづくりについて地元と意見交換してきた。この経緯を踏まえ、歩行環境の改善を図るため、(都)中央通り線の仲町交差点から連雀町交差点(昭和の街)の無電柱化事業を実施する。令和6年度は無電柱化事業を実施するための調査業務を行う。

効果

【事業全体の効果】

- ・無電柱化により歩行者空間を改善することで、「昭和の街」での滞在時間増加や回遊性の向上を図る。
- ・これにより、観光客来訪エリアが分散化され、一番街の歩行者交通量の緩和を見込む。

【令和6年度業務の効果】

- ・本年度業務により、本地区に適した無電柱化手法の確定及び複数の管理者が所有する架空線・埋設物情報の一元化が図れる。この成果は予備設計、詳細設計の基礎となる。

業務内容

(都) 中央通り線無電柱化検討業務委託 (令和6年度 7月発注)

- ・無電柱化の手法選定 (地中化・裏配線・軒下配線など)
※別途実施する市道の無電柱化推進に関する調査の成果を活用
- ・架空線、埋設物情報の集約図化
- ・関係機関 (電線管理者等) 協議



現在の中央通り線



整備後のイメージ

事業概要

一番街周辺地区は、江戸時代からの歴史的な町並みや道すじが概ね維持されており、狭隘な道路に観光客が集中し、歩行空間の混雑や住民の生活環境の確保等に資するオーバーツーリズム対策が必要な状況です。

そこで、地域の魅力の向上や居住環境を高める取組として、時の鐘を中心とした約130ヘクタール（青線エリア）について、無電柱化の推進等、歩行環境の改善による回遊性の向上を図るための調査検討業務を行います。

効果

観光客の分散化（観光客の来訪時間・エリアの分散化）

業務内容

①分散化促進の概要について

回遊性の向上の目的や方式など、基本的な計画について整理します。

②地区内の実施状況について

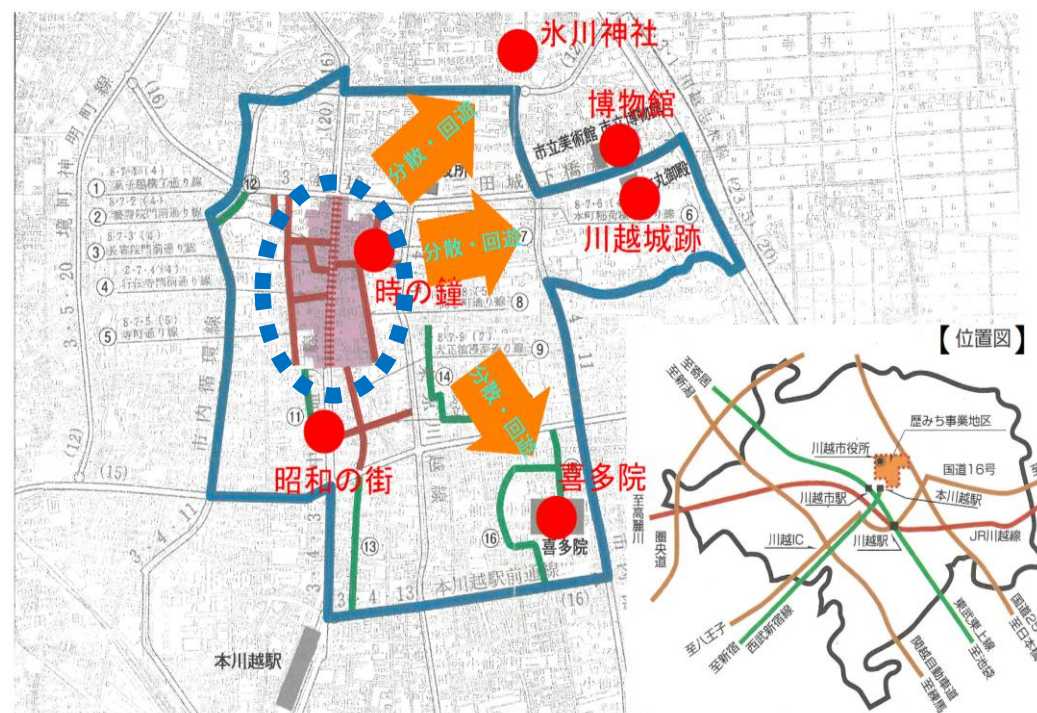
これまでに実施した路線の概要など、実績を整理します。

③路線の抽出について

①及び②をふまえ、回遊性の向上を推進する路線を抽出します。

④優先度の評価について

オーバーツーリズム対策としての優先順位を評価し、事業展開等を検討します。



事業概要

日中の一番街周辺部に来訪が集中している課題に対し、**喜多院周辺地域、川越城周辺地域（初雁公園含む）、その他郊外地域**への場所の分散化を目的として、**各地域の関係者（観光施設、商店街等）との協議を実施**し、地域一体となった誘客促進を図る。

事業実施にあたっては、**観光DX**（VR、AR等）を取り入れた内容を検討する。

効果

- ・観光客の来訪エリアの分散化
- ・周遊性の向上
- ・滞在時間の延伸
- ・消費単価の向上

業務内容

- ①地域関係者（観光施設、商店街関係者等）との協議
- ②企画～実施
- ③効果的な誘導サインの設置
- ④検証



喜多院



川越城本丸御殿

初雁公園



テーマ4

【方向性2】観光・交通円滑化

【テーマ4】観光客に対するマナー啓発

◎現状と目指すべき方向性

現 状

- ・観光客の歩き食べによるごみのポイ捨てや食べこぼしによる道路汚損等の環境問題が発生している。
- ・その他、私有地への侵入や道路の乱横断等もあり、生活環境が悪化している。
- ・ごみ対策について、**統一的な整理がなされていない**。
- ・**住宅地等でのポイ捨てが課題**であり、改善に向けた対策や実施主体について協議が必要である。

目指すべき姿

まちの環境美化を図り、持続可能な観光の推進と**市民の生活環境の維持・向上**が両立したまち

◎具体的な対策案

具体的対策

8

マナー啓発動画・掲出物等の作成及び周知

旅前においては観光バス事業者、旅中においては観光案内所や休憩所、商店街において効果的にマナー啓発ができるよう、各取組主体において活用可能な動画や掲出物を作成する。

具体的対策

9

ごみポイ捨て防止対策の支援によるまちの環境美化

商店街等と協議を図りながら、ごみのポイ捨て抑制を図る。

【具体的対策】マナー啓発動画・掲出物等の作成及び周知

現状

交通渋滞、歩行者と車両の錯綜、車道へのはみ出し、乱横断、行列、写真撮影、ごみのポイ捨て、民地への侵入、道路汚損、歴史的建造物の壁面への寄りかかり

※インバウンドへの対応も必要

事業概要

マナー啓発に係る動画及び掲出物を作成し、小江戸川越WEB等による動画配信（別事業メニューで実施）と観光案内所・商店街等での掲出・周知し、観光関連事業者や観光客のマナー向上を図る。啓発動画等は、バス内での上映、店舗での啓発、旅前のweb等での啓発、スマートバス停の活用も行う。

効果

- ・観光・交通マナーの向上
- ・生活環境の改善→住民の観光に対する感情の悪化防止
- ・歩行環境の改善→交通の円滑化



快適な観光地の形成

業務内容

○ポイント：現状の行為の防止を促す、ツーリストシップを意識させる

- ①マナー啓発動画の作成（ピクトグラム等の活用によるインバウンド対応、団体バス等で上映できるような配慮等）
- ②マナー啓発掲出物の作成、店舗・観光案内所等での掲出
- ③観光関連団体等への活用の周知
- ④ツーリストシップ向上関連事業の実施



【具体的対策】ごみポイ捨て防止対策の支援によるまちの環境美化

事業概要

商店街等が実施するごみポイ捨て防止対策に関連する事業を実施する際の費用を一部補助し、まちの環境美化を図る。

効果

- ・住宅地内等へのごみのポイ捨て抑制
- ・住民の生活環境の向上

業務内容

- ①商店街等関係者との協議
- ②補助金交付要綱の作成
- ③商店街等への周知
- ④補助金申請の受付・交付



※ごみの背後にあるドリンク用ゴミ箱が溢れ、そこから地面に捨てられてしまっている



◎現状と目指すべき方向性

現 状

- ・ 発信する情報が観光スポットやグルメの内容にとどまっている
- ・ 交通やマナーに関する統一的な情報発信が不足



目指すべき姿

- ・ 効果的で活用しやすい情報提供による、観光客の交通手段、来訪時間、訪問先等の行動変容の促進
- ・ 観光客がリアルタイムで交通や観光情報を取得することによる、時間や場所の分散化

◎具体的な対策案

具体的対策

10

混雑緩和、マナー向上に向けた観光情報の一元的な発信

交通関連情報、混雑予測、マナー向上、デジタルマップ等に係る観光情報について、WEB・SNS等で一元的に情報発信を行う。

【具体的対策】混雑緩和、マナー向上に向けた観光情報の一元的な発信

事業概要

WEBやSNSで駐車場の満空情報等の混雑情報やマナー啓発に係る各種情報を一元的に発信する。

効果

- ・公共交通機関の利用率向上
- ・市営駐車場周辺部の混雑緩和
- ・観光客のマナー向上
- ・観光客の分散化

業務内容

- ① 交通関連情報のWEB掲載、定期的なSNS配信
- ② ビッグデータを活用した「混雑予想」のWEB・SNS配信
- ③ ライブ映像のWEB配信
- ④ 市庁舎北側・南側駐車場、郊外型駐車場の満空情報のWEB掲載
- ⑤ 歩き食べ等のマナー啓発関連動画のWEB掲載、定期的なSNS配信
- ⑥ デジタルマップを導入し、観光スポットやごみ箱・トイレ設置場所等を情報発信



テーマ6

具体的対策

11

【方向性3】持続可能な観光行政の推進

市独自事業

【テーマ6】負担の適正化

【具体的対策】観光客にも負担を求める財源策の検討

◎現状と目指すべき方向性

現 状

・継続的なオーバーツーリズム対策、持続可能な観光地域づくりが必要となる中、観光客の増加が市の歳入の増加に直結していない状況である。今後経費の一部を観光客等にも負担を求める財源の検討により、負担の適正化を進める必要がある。

目指すべき姿

- ・安定的な財源に基づいた継続的な対策の実施
- ・負担の適正化

◎進め方

新たな財源確保策の導入に向けた調査研究を進める。

具体的対策のロードマップ

No	具体的対策名	令和7年度	令和8年度	令和9年度
①	適切な交通規制等のあり方の検討	短期的交通対策を試験的に導入する。	令和7年度の導入結果を踏まえた交通対策を実施する。	令和7・8年度の実施結果を踏まえた交通対策を実施する。
②	公共交通の利用促進（スマートバス停）	川越市役所前バス停にスマートバス停を設置し、バスロケ機能や多言語表記による情報発信を行うことで、利用者の利便性を向上をさせ、バス利用の促進を図る。	令和7年度の結果を踏まえ、バス事業者と連携し、発信情報の充実やスマートバス停の拡充について検討する。	令和7・8年度の結果を踏まえ、バス事業者と連携し、発信情報の充実やスマートバス停の拡充について検討する。
③	行列・混雑の解消支援（整理券システム等）	混雑状況の分析結果により、整理券システムの導入拡大、その他の行列対策の必要性を検討する。	令和7年度に検討した内容について、実施・検討していく。	これまでの導入事例を主要商店街と共有すること等による行列発生の予防
④	滞留スペースの確保（伝建調査）	調査結果と実証実験をもとに、伝建地区内の低利用地を滞留空間として活用し、伝建地区内外で観光客の新たな動線を確保することで、道路空間の混雑解消を図る。	伝建地区内の低利用地を滞留空間として活用し、伝建地区内外で観光客の新たな動線を確保することで、道路空間の混雑解消を図る。	伝建地区内の低利用地を滞留空間として活用し、伝建地区内外で観光客の新たな動線を確保することで、道路空間の混雑解消を図る。
⑤	パークアンドライド事業の拡張性等に関する調査検討	調査検討結果を踏まえ、駐車場候補地や導入手法の選定を行い、地権者やバス事業者等の関係者に対し、導入に向けた調整を行う。	令和7年度に実施した関係者との調整結果をもとに、市街地への車両の流入を抑制できるだけの郊外型駐車場及び交通手段等を確保し、パークアンドライド事業の拡充を図る。	既存のパークアンドライド事業等の推進を行いながら、各事業の利用状況を鑑み、拡充や利用促進について検討を行う。
⑥	駐車場の混雑・満空状況の情報環境整備	機器設置による満車状況や周辺のうろつき渋滞の減少傾向を継続的に調査・把握	市庁舎駐車場のうろつき渋滞や駐車待ち渋滞を予防するための入口部分の改良工事等の検討及び郊外型駐車場の有料化に向けた検討	市庁舎駐車場のうろつき渋滞や駐車待ち渋滞を予防するための入口部分の改良工事等の検討及び郊外型駐車場の有料化に向けた検討
⑦ ⁻¹	多様な観光拠点への誘客促進とネットワーク化等による分散化の推進(1/3)	無電柱化に伴う予備設計業務を行うとともに、電線管理者や埋設物管理者との協議を実施する。	電線管理者や埋設物管理者との協議をもとに、無電柱化及び道路の詳細設計業務を行う。	令和9年度、都市計画変更手続き 令和10年度以降に工事実施
⑦ ⁻²	多様な観光拠点への誘客促進とネットワーク化等による分散化の推進(2/3)	調査結果をもとに、路線の選定、対策方法について検討を行う。	実施に向けた計画方針等の立案を行う。	関連事業と連携し、短期で効果的な手法の実施に向けた調査を行う。
⑦ ⁻³	多様な観光拠点への誘客促進とネットワーク化等による分散化の推進(3/3)	令和6年度の事業結果を踏まえた、関連商店街や観光施設による自主事業の検討	関連商店街や観光施設による自主事業の企画・立案	関連商店街や観光施設による自主事業の実施
⑧	マナー啓発動画・掲出物等の作成及び周知	マナー啓発動画・掲出物の作成及び関連媒体への掲載・関係者への配布	令和7年度の結果を踏まえ、動画の配信先の更なる拡大の検討	継続的なマナー啓発の実施
⑨	ごみポイ捨て防止対策の支援によるまちの環境美化	令和6年度の結果を踏まえた商店街等との協議	商店街等による継続的なポイ捨て対策の実施	これまでの対策事例を主要商店街と共有すること等による、ごみポイ捨て発生の予防
⑩	混雑緩和、マナー向上に向けた観光情報の一元的な発信	アクセス数等の解析 令和6年度の結果を踏まえたページの情報更新	観光関連団体等と更に効果的な情報発信について協議・検討	継続的な情報発信と発信内容のブラッシュアップ

具体的対策のK P I、連携先

No	具体的対策名	達成度指標（K P I）		主な連携先
		現状	対策実施後	
①	適切な交通規制等のあり方の検討	人と車が錯綜し、歩行環境の悪化や交通渋滞が発生	安全安心な歩行環境の確保 生活交通・生活環境の保全	観光関連団体 鉄道事業者 バス事業者 商店街
②	公共交通の利用促進（スマートバス停）	自家用車での来街増加 外国人観光客の増加	設置バス停の利便性向上と乗降客数の増加	観光関連団体 鉄道事業者 バス事業者 商店街
③	行列・混雑の解消支援（整理券システム等）	概ね10店舗で道路上の行列が発生	導入に伴う行列店舗の減少数 10店舗	観光関連団体 鉄道事業者 バス事業者 商店街
④	滞留スペースの確保（伝建調査）	滞留空間の不足による観光客の混雑	滞留空間確保による歩道スペースにおける行列人数の減少	観光関連団体 鉄道事業者 バス事業者 商店街
⑤	パークアンドライド事業の拡張性等に関する調査検討	繁忙期における郊外型駐車場の駐車台数の不足	郊外型駐車場の拡充による中心市街地への車両の流入抑制	観光関連団体 鉄道事業者 バス事業者 商店街
⑥	駐車場の混雑・満空状況の情報環境整備	市営駐車場の満空情報発信がない	満空情報関連のWEBページアクセス数 100,000アクセス/月	観光関連団体 鉄道事業者 バス事業者 商店街
⑦-1	多様な観光拠点への誘客促進とネットワーク化等による分散化の推進(1/3)	電柱が支障となり、歩きづらさが問題となっている	歩行環境の改善	観光関連団体 鉄道事業者 バス事業者 商店街
⑦-2	多様な観光拠点への誘客促進とネットワーク化等による分散化の推進(2/3)	道路空間の混雑化	安全で快適な道路空間の確保	観光関連団体 鉄道事業者 バス事業者 商店街
⑦-3	多様な観光拠点への誘客促進とネットワーク化等による分散化の推進(3/3)	立ち寄り観光地点 3.6箇所(R5)	立ち寄り観光地点 4.0箇所	観光関連団体 鉄道事業者 バス事業者 商店街
⑧	マナー啓発動画・掲出物等の作成及び周知	旅マエにおけるマナー啓発の情報発信がない	マナー啓発関連のWEBページ閲覧数 100,000アクセス/月	観光関連団体 鉄道事業者 バス事業者 商店街
⑨	ごみポイ捨て防止対策の支援によるまちの環境美化	観光アンケート調査 ごみ箱整備に対する要望割合 20.5%(R5)	観光アンケート調査 ごみ箱整備に対する要望割合 18%	観光関連団体 鉄道事業者 バス事業者 商店街
⑩	混雑緩和、マナー向上に向けた観光情報の一元的な発信	一元的な情報掲載なし	一元的な情報ページ掲載 100,000アクセス/月	観光関連団体 鉄道事業者 バス事業者 商店街